



**問** 総合的な八丁牟田駅前開発は

**答** 町の顔としての整備を推進

西鉄との協議は概ね順調に経過し、平成11年6月西鉄大牟田線八丁牟田駅周辺改良について実施協議の回答があり、用地の確保や計画鉄道用地の等価交換等、事業が本格化している。

しかし、用地買収が困難を極め大幅に遅れたこと。天神大牟田線の輸送人員の大幅な減少。更に、平成13年11月から特急が大善寺駅に常時停車となる状況の中で、八丁牟



八丁牟田駅前



八丁牟田踏切2号

**問** 八丁牟田駅前開発で計画されている八丁牟田踏切2号を含めた路線西側の道路拡幅計画の状況は。

**町長**

西鉄八丁牟田駅副本線計画は、平成5年8月に大溝駅に副本線計画のため、西鉄より町に用地買収の協力依頼があったが、その後、平成7年7月に八丁牟田駅前広場及び駅施設等の改良事業について、西日本鉄道株式会社から協力依頼を行ったことからスタートしている。

**建設課長**

現時点での八丁牟田駅副本線化事業は困難と思われるので、当初計画を大幅に見直す必要があると考えている。

ただし、線路西側の道路整備を進めていきたい。

**問** 八丁牟田駅急行停車について西鉄との交渉内容は。

**町長**

平成13年4月の協議では、用地取得の予算が流れ、今後再開するとなれば副本線化、駅舎改築等の資金計画

田駅の副本線化についての資金計画は困難であるとの表明を西鉄から受けている。このような状況であるが、今年度、用地取得が完了したことで、線路西側の道路整備や町の顔としての駅前整備を進めていきたい。

備と町の顔としての駅前整備を進める必要があると考え、引き続き西鉄と協議し、事業化に向けて努力していきたい。

を含めた再構築が必要で、現在では白紙の状態である。

また、平成13年10月の協議では、11月のダイヤ改正で特急が大善寺駅に常時停車となり、副本線化を強力に推進する材料がない時点での本事業への費用投入は無理と思われるので、西鉄としては請願駅の形態(基本的に全額地元負担となる)で今後進めてもらいたいとの表明を受けている。